

プロ必須のテクニカル分析を  
マスターしよう。



2016年冬期

# テクニカルアナリスト資格 第1次通信教育講座のご案内

受講申込締切:2016年11月18日(金)

開講期間:2016年12月~2017年4月(5ヵ月)

## ■ ご案内

テクニカルアナリスト資格には第1次資格・第2次資格・第3次資格の3段階があります。今回のご案内は、第1次資格取得のために必要な「第1次通信教育講座」に関するものです。当講座では証券投資に関する基礎知識とテクニカル分析の基本的な考え方を学んで頂きます。受講修了者には、第1次資格試験受験資格が与えられます。合格し協会正会員になりますとCMTA®【右ページ参照】の資格が与えられます。



### ■ 第1次通信教育講座(冬期)の募集概要

- ①募集期間：2016年10月1日(土)～11月18日(金)
- ②開講期間：2016年12月～2017年4月
- ③受講料：54,000円(税込)※2016年8月末現在。募集締切日までにお振込みください。
- ④申込方法：原則として、当協会ホームページよりインターネットでお申し込みください。  
会社単位で申し込む場合、インターネットでの申し込みではない場合は  
当協会事務局迄ご連絡ください。(NTAA事務局 TEL:03-5847-2231 平日9:00～17:00)
- ⑤振込先：三菱東京UFJ銀行 日本橋支店 普通預金 NO.2017789  
特定非営利活動法人 日本テクニカルアナリスト協会  
トクヒニホンテクニカルアナリストキョウカイ  
※振込手数料は申込者負担となります。
- ⑥中途解約：受講者が、やむをえない事由により受講を辞退した場合の取り扱いは以下の通りとする。
  - a.教材等発送前の申出は全額返還する。
  - b.教材等発送後の申出は当協会の規程に基づき返還する。

### ■ 第1次通信教育講座の概要

通信教育テキストは、2分冊からなっており、当協会より受講者の皆様へ開講前に送付します。

#### 第1分冊

テクニカル分析を取り巻く環境と一部のテクニカル分析手法を学びます。以下は第1分冊の目次です。

- I. テクニカル分析とファンダメンタル分析の関係    II. 日本経済と株価    III. 企業業績と株価  
IV. 市場全体の分析    V. テクニカル分析(トレンド分析、移動平均線、モメンタム分析、フォーメーション分析、売買高分析)

#### 第2分冊

さまざまなテクニカル分析の手法を学びます。以下は第2分冊の目次です。

- V. テクニカル分析(オシレーター分析、サイクル分析、ローソク足、ダウ理論、一目均衡表、エリオット波動論)  
VI. 需給分析(投資部門別状況、仮需、投資家心理)

#### サブテキスト

**\*必須参考文献としてご用意ください。**

「日本テクニカル分析大全」

日本テクニカルアナリスト協会編 日本経済新聞出版社発行 定価6,500円+税

■ 【参考】テクニカルアナリスト資格の全体像

		第1次資格 CMTA <sup>®</sup>	第2次資格 CFTe <sup>®</sup>	第3次資格 MFTA <sup>®</sup>
通信教育	受講資格	なし	CMTA <sup>®</sup> 資格保有者かつ 当協会会員	CFTe <sup>®</sup> 資格保有者かつ 当協会会員
	募集日時	4~5月(夏期) 10~11月(冬期)	2月~3月	/
	受講期間	6~10月(夏期) 12~4月(冬期)	4月~8月	
	練習問題	全5回	全5回	
	受講料	54,000円(税込) *2016年8月現在	54,000円(税込) *2016年8月現在	
資格認定試験	受験資格	上記講座の受講修了者 ( <b>全ての答案を提出</b> ) ( <b>初回受講後3年以内</b> )	CMTA <sup>®</sup> 資格保有者かつ 上記講座の受講修了者 ( <b>同左</b> )	
	試験形式	選択式 120分	小論文形式 180分	概要提出と本論文提出
	試験時期	毎年2回 1月と7月	毎年1回 11月	毎年2回 4月と9月
	受験料	10,800円(税込) *2016年8月現在	21,600円(税込) *2016年8月現在	900米ドル *2016年8月現在
	資格名	日本テクニカルアナリスト協会 認定テクニカルアナリスト <b>略称 CMTA<sup>®</sup></b> (Certified Member of The Nippon Technical Analysts Association) NTAA 1,910名 (2016年3月現在)	国際テクニカルアナリスト連盟 認定テクニカルアナリスト <b>略称 CFTe<sup>®</sup></b> (Certified Financial Technician) NTAA 548名 (2016年3月現在)	国際テクニカルアナリスト連盟 検定テクニカルアナリスト <b>略称 MFTA<sup>®</sup></b> (Master of Financial Technical Analysis) 134名うちNTAA 49名 (2016年3月現在)
到達目標	テクニカル分析に関する 基本的な知識および 使用方法を習得している	テクニカル分析を用いた 適切な現状判断と投資判断が でき、マーケット・レポートが 作成できる	国際テクニカルアナリスト 連盟の知識データベースに 新たな視点を加える	
主な受講者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関職員(営業、調査、ファンドマネージャー、ディーラー他)</li> <li>・調査情報機関職員 ・マスコミ関係者 ・教育関係者</li> <li>・学生 ・テクニカル分析に興味のある方 ・個人投資家他</li> </ul>			

## ■ 日本テクニカルアナリスト協会について

マーケットに向き合う時に大切なことは、相場を取り巻く環境を知ることと、相場の方向性および売買のタイミングを知ることの双方です。前者の知識はファンダメンタル分析をベースとしており、後者はテクニカル分析をベースとしているといわれます。的確な市場分析には両者が不可欠であり、「車の両輪」と言われるゆえんです。1人でも多くの方に「テクニカル分析」の知識を取得していただき、健全なマーケットの発展に寄与していただくことを期待したいと願い、テクニカル分析の教育と普及啓発を目的として日本テクニカルアナリスト協会(NTAA NPO法人)は設立されました。当協会は、国際テクニカルアナリスト連盟(IFTA)を創設した協会の1つでもあります。

## ■ 第1次通信教育講座開講にあたって

日本テクニカルアナリスト協会は、1998年より資格制度を開始しました。同時に、受験資格として本通信教育講座の受講を義務付けております。

我が国のテクニカルアナリスト資格試験制度は、国際機関であるIFTAとNTAAが協力しながら行っています。合格者に与えられるテクニカルアナリスト資格は、国際資格であっても国家資格ではありません。

テクニカルアナリスト資格試験には3段階があります。第1次資格(CMTA<sup>®</sup>)試験と第2次資格(CFTe<sup>®</sup>)試験は、IFTAの審査を受けた試験問題によってNTAAが日本語で行います。第3次資格(MFTA<sup>®</sup>)試験は、IFTAが英語で行う論文試験で行われます。本通信教育講座は第1次資格(CMTA<sup>®</sup>)取得のためのものです。第1次資格(CMTA<sup>®</sup>)試験受験のためには本通信講座を受講し修了することを義務付けております。本講座受講修了後3年以内に限り、第1次資格(CMTA<sup>®</sup>)試験の受験資格が与えられるので、翌年・翌々年も受験が可能です。極力早期に合格されるようお願いいたします。同時に第1次資格(CMTA<sup>®</sup>)取得後はなるべく早めに第2次資格(CFTe<sup>®</sup>)の取得にチャレンジされ、さらに高いステージへ進まれることをお勧めします。単にテクニカル分析の用語の意味を理解するだけでなく、その知識を活用した応用編へと進まれることが大切なことと考えるからです。



国際テクニカルアナリスト連盟(IFTA)加盟  
**日本テクニカルアナリスト協会<sup>®</sup>**  
特定非営利活動法人(NPO法人)

〒103-0026

東京都中央区日本橋兜町3-3

TEL:03-5847-2231 平日9:00~17:00

URL:<http://www.ntaa.or.jp>

E-Mail:[office@ntaa.or.jp](mailto:office@ntaa.or.jp)

